



Gフレーム フレーム意匠部材 板張りタイプ

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明

⚠ 警告

・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

⚠ 注意

・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

■情報に関する記号と説明

施工上のお願い

・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

■ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示してます。(例：1a、1b、2a等)

締結部品の種類は「**■梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□ 施工の前に

⚠ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 施工手順は、「Gフレーム 取付説明書(E248) G取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

施工上のお願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

施工上のお願い

- シリコンシーリング材を使用する場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
ダウ・東レ(株)	SE960

施工上のご注意

⚠ 注意

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。
製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、
下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆる
みがないか確認してください。
製品の強度低下、またはケガの原因になります。
・φ4ネジ: $2.5\text{N}\cdot\text{m} \pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($25 \pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶
縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 部材の嵌合が確実に嵌まっていることを確認し
てください。

施工上のお願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なっ
てください。
- ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、
手、足の保護具）を正しく使用してください。
- ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全
確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照
明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使
用してください。
- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して
進めてください。免許、技能講習、特別教育
が必要な作業は、有資格者
が行なってください。
- ・作業者が相互に安全確認を行なってください。
健康状態を十分に確認し、健康管理を実施し
てください。
- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当
を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についた汚れは取り除き、誤ってキズ
をつけた場合は補修塗料で補修してください。

梱包明細表

チェックリスト

【1】 フレーム意匠部材 板張りタイプ セット

名 称	略 図	員 数
フレーム意匠部材カバー 板張りタイプ		1
フレーム意匠部材ベース 板張りタイプ		9
【1a】φ4×16ナベドリルねじ(色付)		27
【1b】φ4×15ナベタッピンねじ2種		4
取付説明書<EXM-215>	—	1

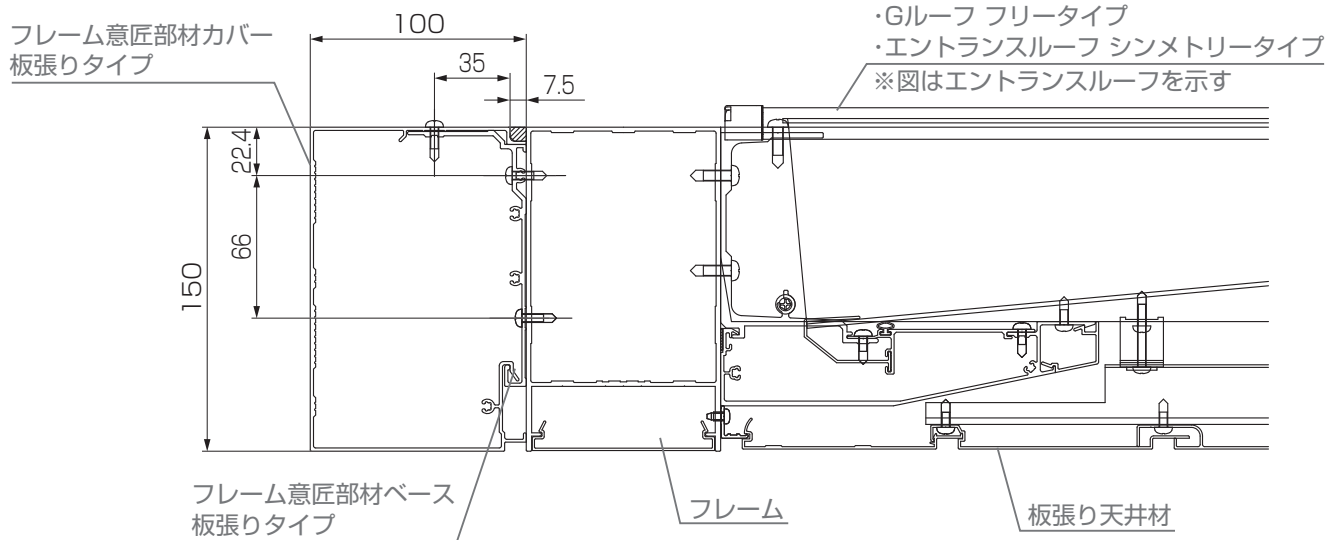
※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	ページ	チェック内容	
1	6	ねじが緩んでいないか確認しましたか？	☐
2	7	シーリングが適切に行われているか確認しましたか？	☐

基本寸法と各部名称

施工上のお願い

- フレーム意匠部材 板張りタイプは、Gルーフフリータイプ(板張り天井材)またはエントランスルーフ シンメトリータイプの板張り天井材と向きを合わせて取付けてください。



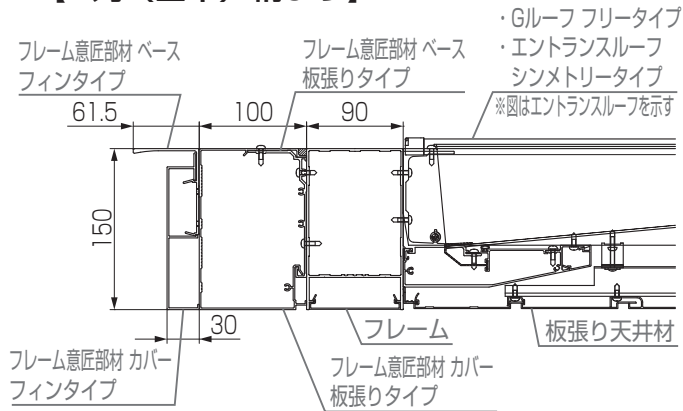
1 部材の加工

1-1 フレーム意匠部材 板張りタイプの組合せパターン確認

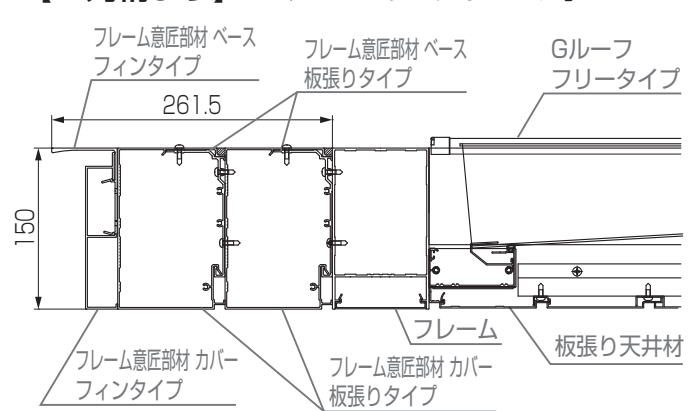
施工上のお願い

- フレーム意匠部材 板張りタイプは最大2列まで取り付けることができます。ただし、エントランスルーフ シンメトリータイプに設置する場合は、2列の取付けはできません。

【1列（基本）納まり】



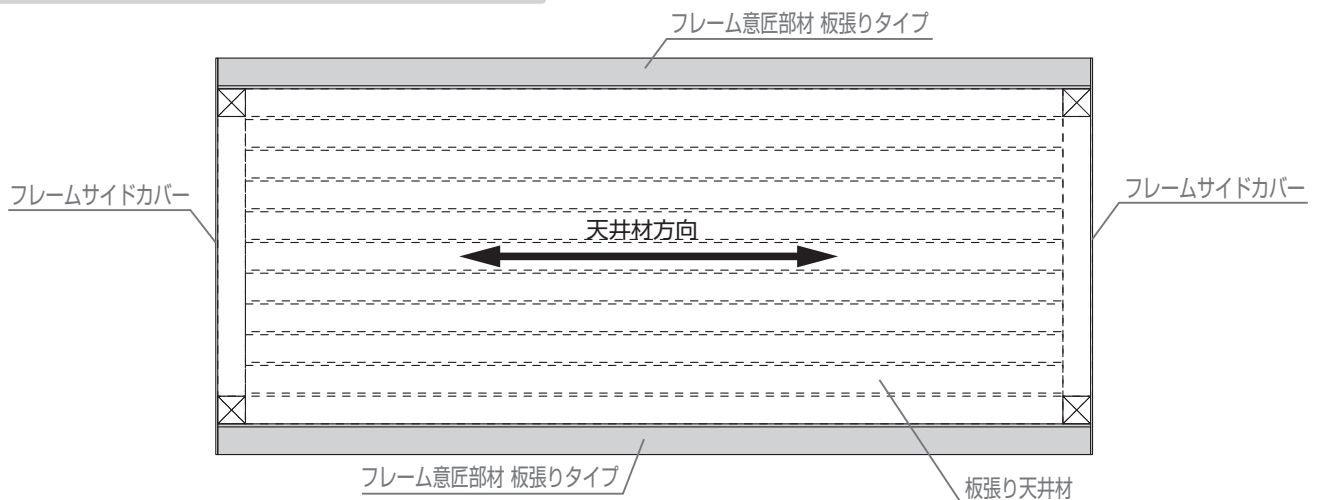
【2列納まり】 ※Gルーフフリータイプのみ可



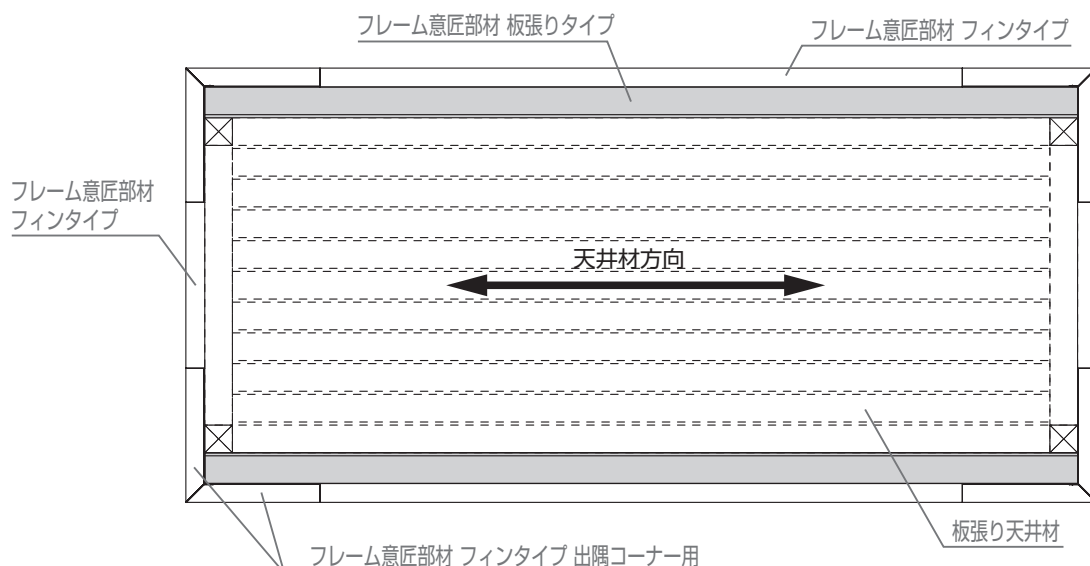
施工上のお願い

- フレーム意匠部材 板張りタイプは小口を保護するために、必ずいずれかのパターンで組合せる必要があります。

▼ フレームサイドカバーと組合せる場合 ▼



▼ フレーム意匠部材 フィンタイプと組合せる場合 ▼

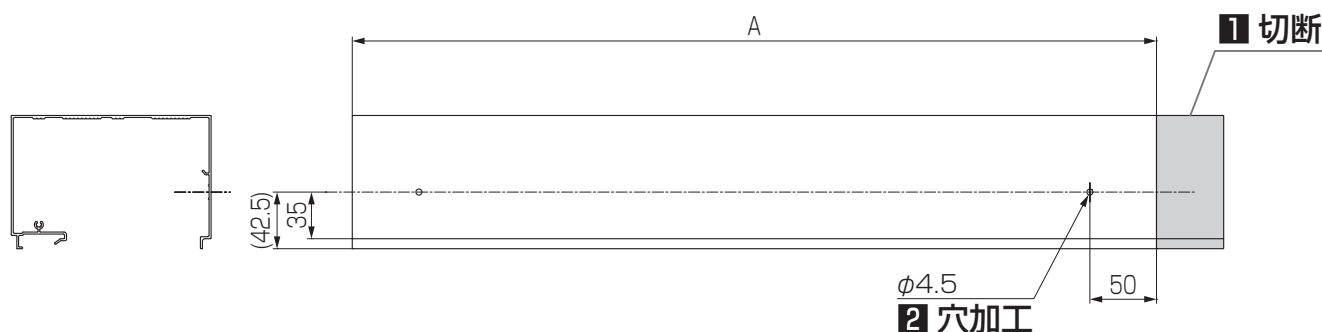


1 部材の加工

1-2 部材の加工

1-2-1 フレーム意匠部材 板張りタイプカバーの加工

- ❶: フレーム意匠部材 板張りタイプカバーを、現場に合わせた寸法Aにて切断加工
❷: フレーム意匠部材 板張りタイプカバーに、 $\phi 4.5$ の穴加工

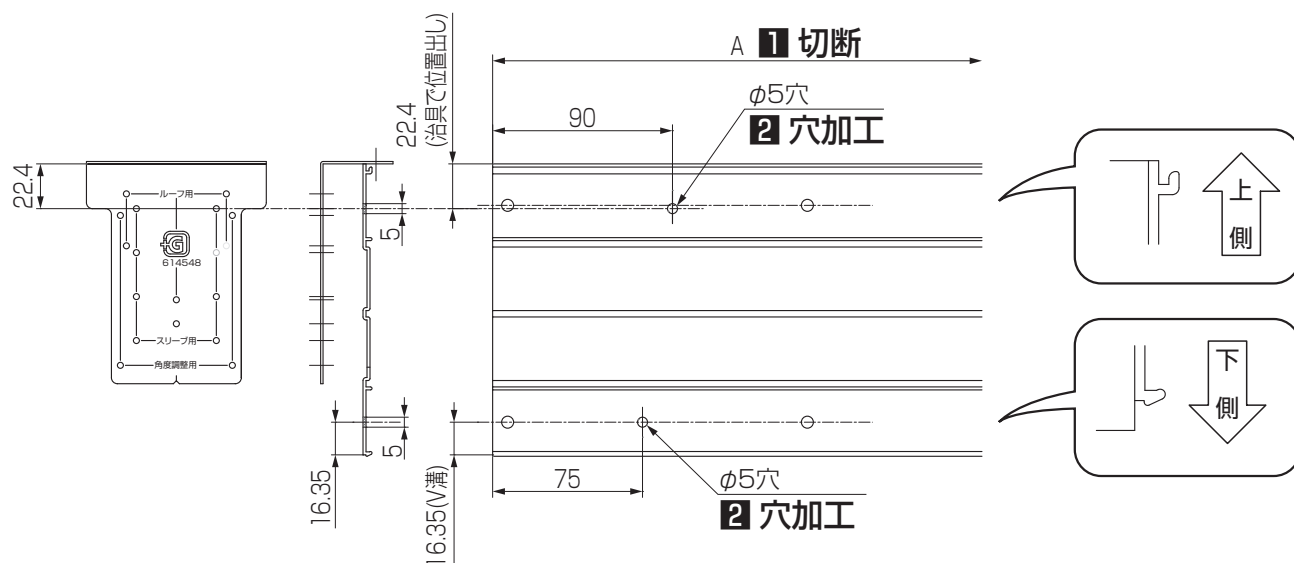


1-2-2 フレームサイドカバー受けの加工 ※フレームサイドカバーと組合せる場合のみ

- ❶: フレームサイドカバー受けを、現場に合わせた寸法Aにて切断加工
❷: 施工治具を使用してフレームサイドカバー受けに、 $\phi 5$ の穴加工

施工上のお願い

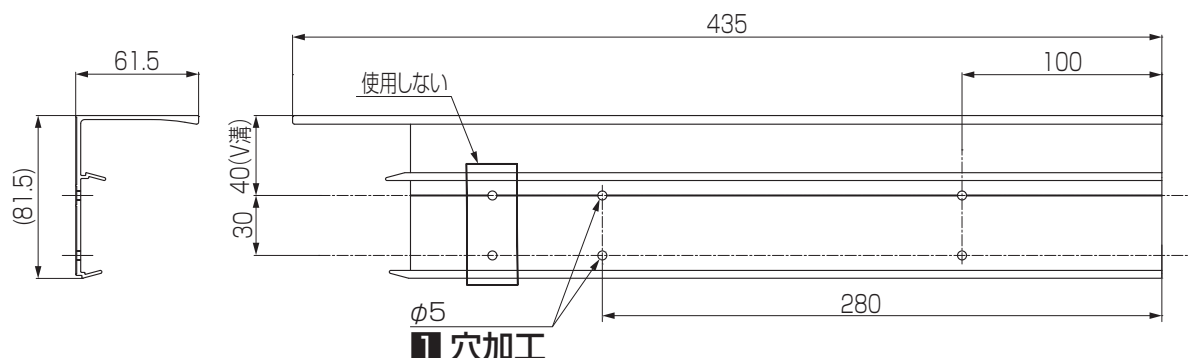
- フレームサイドカバー受けの上下に注意して加工してください。



フレーム意匠部材 フィンタイプ

1-2-3 出隅コーナー継ぎ手ベースの加工 ※フレーム意匠部材 フィンタイプと組合せる場合のみ

- ❶: フレーム意匠部材 フィンタイプ 出隅コーナー継ぎ手ベースに、 $\phi 5$ の穴加工



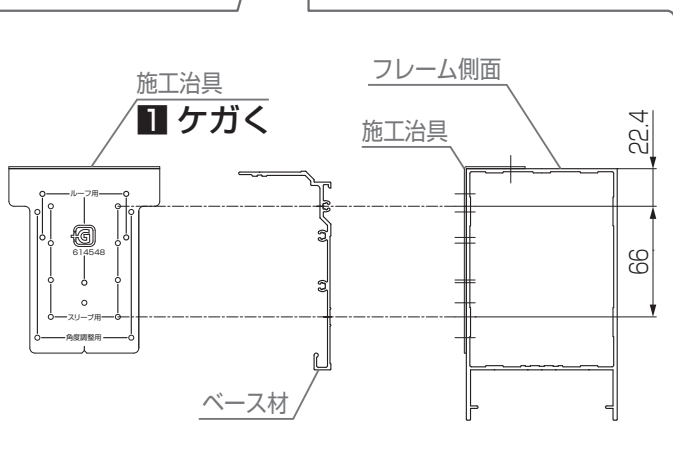
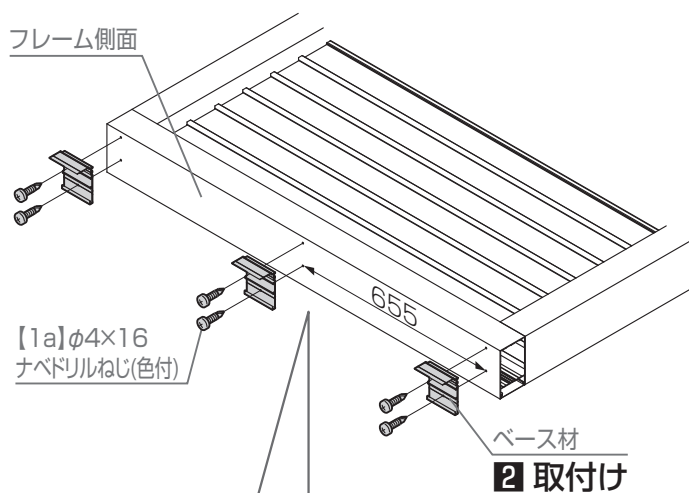
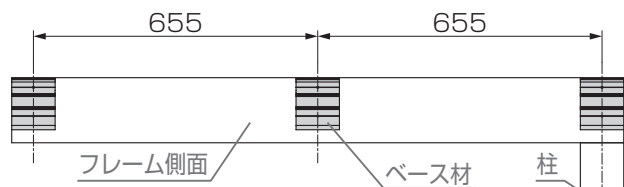
2 部材の取付け

2-1 ベース材の取付け

- 1: 施工治具を使用してフレームにケガく
- 2: ベース材をフレーム側面に【1a】で取付け

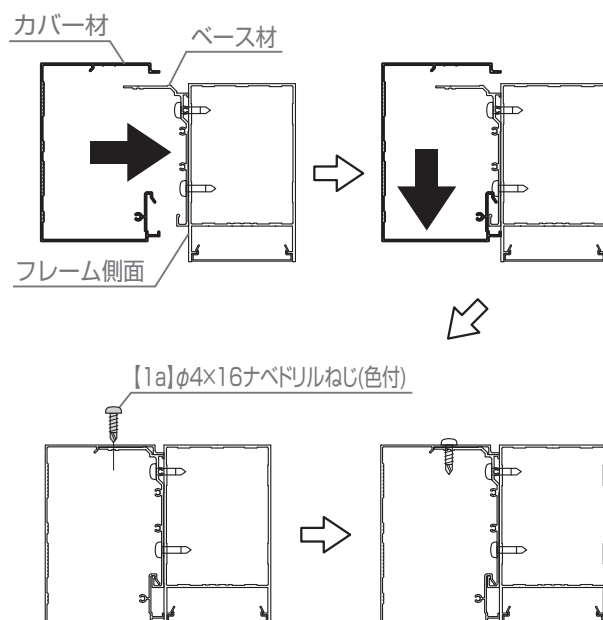
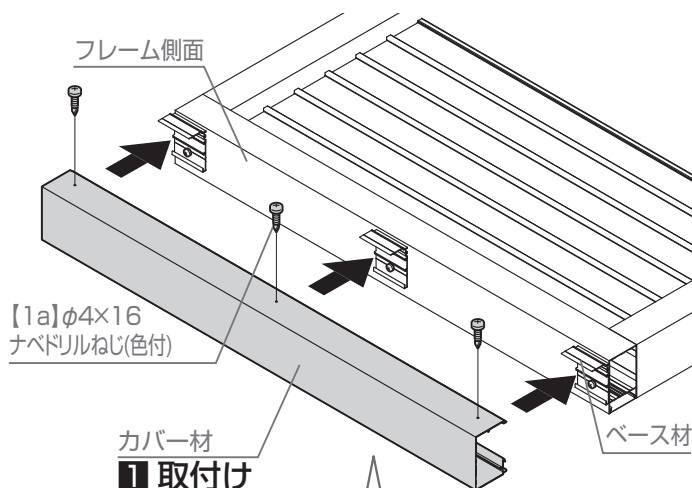
施工上のお願い

- 端部のベース材の小口と、フレームの小口または柱の端部が揃うように取付けてください。
- ベース材は 655ピッチで取付けてください。



2-2 カバー材の取付け

- 1: カバー材をベース材に【1a】で取付け



施工上のお願い

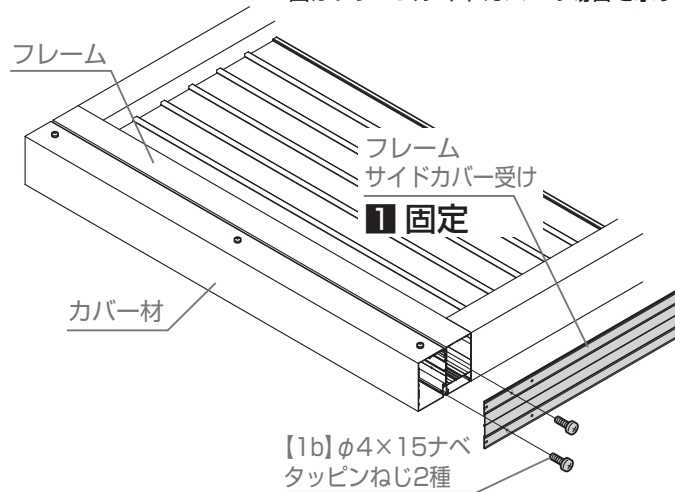
- カバー材とフレームの上下面が揃うように取付けてください。また、カバー材とフレームの間に隙間がないことを確認してください。
- ベース材とカバー材の端部が揃うように取付けてください。

1 基本寸法と各部名称

2-3 フレームサイドカバー、 フレーム意匠部材フィンの取付け

①: フレームサイドカバー受けまたはフレーム意匠部材ベース
フィンタイプを【1b】で固定

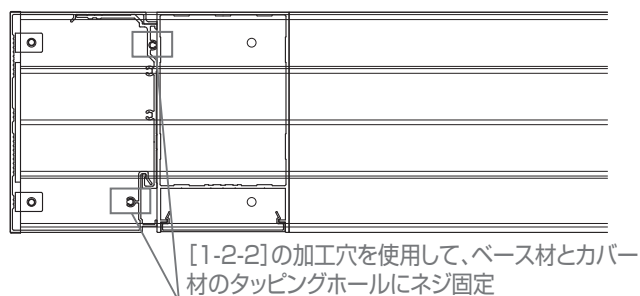
※図はフレームサイドカバーの場合を示す。



施工上のお願い

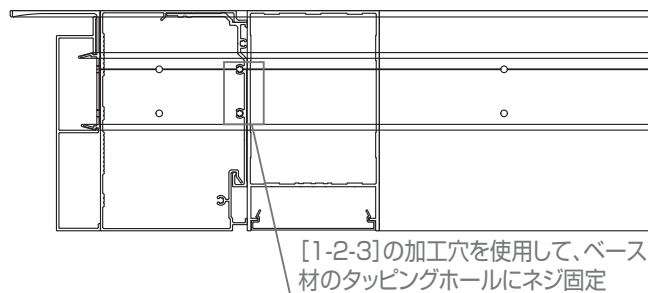
- フレームサイドカバー受けまたは、フレーム意匠部材ベース
フィンタイプの現場加工穴を使用して、フレーム意匠部材板張
りタイプのタッピングホールとネジ固定してください。

▼フレームサイドカバーを取付ける場合▼



【1-2-2】の加工穴を使用して、ベース材とカバー
材のタッピングホールにネジ固定

▼フレーム意匠部材フィンタイプを取付ける場合▼



【1-2-3】の加工穴を使用して、ベース
材のタッピングホールにネジ固定

施工上のお願い

- フレームサイドカバーおよびフレーム意匠部材 フィンタイプ
の残りの取付け手順と詳細は、下記の取付説明書を参照して
ください。

フレームサイドカバーと組合せる場合は

E293 Gフレームサイドカバー

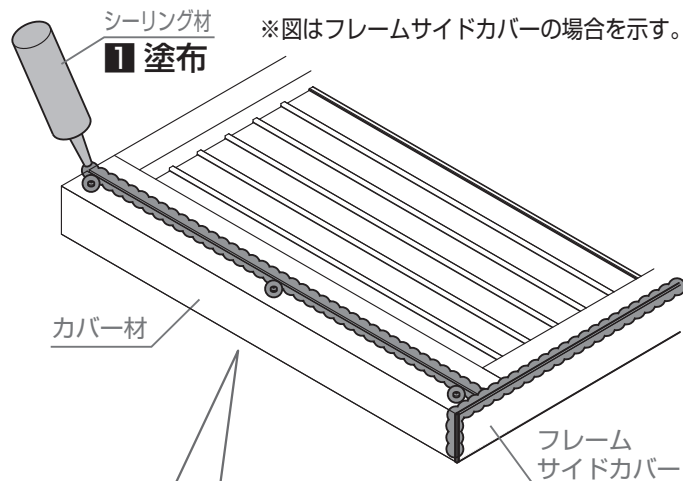
フレーム意匠部材 フィンタイプと組合せる場合は

EXM012 Gフレームフレーム意匠部材

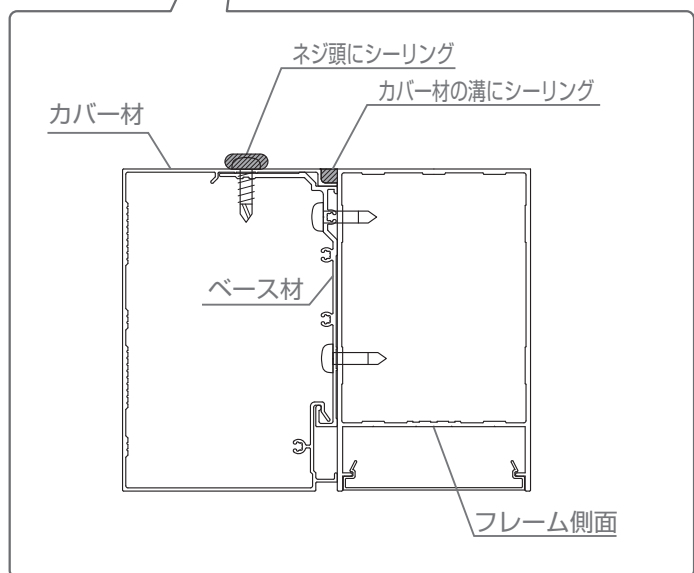
2-4 シーリング

①: カバー材の溝、ネジ頭、フレームサイドカバーやフィンタイ
プとの継ぎ目にシーリング材を塗布

※図はフレームサイドカバーの場合を示す。



① 塗布



施工上のお願い

- フレーム意匠部材 フィンタイプのシーリング箇所については、
取付説明書 [EXM012 Gフレーム フレーム意匠部材] を参
照してください。

